ISSN 0919-4657

KONC

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

関西自然保護機構会誌

29巻1号（通算53号）



2007年8月

関西自然保護機構

表 紙 の 言 葉

奈良公園のジャケツイバラ *Caesalpinia decapetala* var. *japonica*

写真　伊藤ふくお
文　　前迫　ゆり

4月から6月に鮮やかな黄色の花をつけるこのマメ科植物は，疎林や林縁部でしばしば目にする。私が最初にこの植物と遭遇したのは，10年ほど前，東大寺二月堂の裏山でシカによるイズセンリョウの摂食調査をしているときであった。木本性のつるに逆刺をつけたこの植物が，再三，行く手を阻んだ。かつてシカが食べない植物とされていたイズセンリョウは，数年前から春日山原始林内や奈良公園一帯でもよく食べられるようになり，すでに消失した地域もある。しかしジャケツイバラはシカも苦手らしく，まだ食べられずに生育している。逆刺をものともせず，この黄色の花をおいしそうに食べるシカの姿をみるのも時間の問題かもしれない。この写真は奈良公園で，昆虫写真家伊藤ふくお氏撮影（2002年5月2日）。

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organization for Nature Conservation）

KONCは自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人たちを幅広く組織して，自然環境保全に関する各分野での研究を結集し，その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして，1978年に創立されました。

KONCはその活動の成果と，会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて，近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザリー・ボディ（助言勧告機関）として，社会の要請にこたえることを企図しています。

現在，次のような活動をしています。

1．基礎研究の実施
2．シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3．現地見学会の開催
4．研究助成金の交付
5．会誌・連絡紙の発行
6．自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7．自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8．国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は，個人会員・維持会員の会費により，まかなわれています。